

どくしょかんそうぶん か 読書感想文を 書こう



どくしょかんそうぶん 読書感想文って、なあに？

おもしろい本を読んだり、おもしろい話を聞いたりしたとき、「あそこがよかったなあ。わくわくしたよ。」と、いろいろ話したくなってくるでしょう。思ったことや感じたことを、お話をするように文しょうにしたものが、読書感想文です。

1 本を選ぼう



- ・自分の読みたいと思う本を選びましょう。
- ・かんたんすぎたり、むずかしすぎたりしない、自分の方にあった本を選びましょう。

【令和6年度 高学年 課題図書】

- ・「ぼくはうそをついた」
- ・「ドアのむこうの国へのパスポート」
- ・「図書館がくれた宝物」
- ・「海よ光れ！」

2 本を読もう

- ・選んだ本をじっくりと読みましょう。
- ・できれば何度も読みましょう。とちゅう、心に残ったところなどに紙をはさんでおくのもよいです。

3 さあ 書きだそう (思いつくまま 書いてみよう)



① 自分に いてるところを 見つけよう

- ・自分じぶんにいてるところ、反対はんたいのところを見つけて、書いてみる。
- ・お話はなしの中の人なかと同じようなことひとをしたことがあったら、そのときのことおなを書いてみる。

② 自分だったら・・・と 考えよう

- ・お話はなしの中の人なかのことや、その人がしたことひとについて、「賛成さんせい」や「反対はんたい」の意見いけんを書く。
- ・「わたしならこうします」という考えかんがや、「なぜか」というわけわけを書いてみる。

③ よびかけて 話そう

- ・お話はなしの中の人なかに話しかけるように書いてみる。
お父さん、お母さん、先生、友だちに話すように書いてみる。

ぼくはこう思うけれど、
きみはどう？

④ ふだんの ことばづかいで

- ・感想文かんそうぶんは、おしゃべりとおなじです。方言ほうげんなどをつかってもいいね。



⑤ 分からなかったことを調べよう

- ・ 不思議に思ったこと、分からなかったことを調べて、それをまとめてみる。

4 原稿用紙に書こう

- ・ 原稿用紙に書きましょう。
- ・ 1200字以内にまとめよう。(原稿用紙3枚程度)
(終わりがあまり残らないようにしましょう。)
- ・ 題名や学年、組、名前は、原稿用紙のマスの外に書きましょう。

- ・ 言いまわしのおかしいところはないか。
- ・ 自分の言いたいことがかけているか。
- ・ 何度も同じことを言っているところはないか。

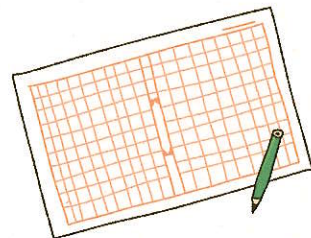
字のまちがいや、ぬけているところがないか。

しっかり直しましょうね。



○ 原稿用紙の使い方

- 1 「題」、「名前」は、マスの外に書く。
- 2 1行目の1マス下がったところから書きはじめる。
- 3 話がかわるときは、行をかえて、1マス下げて書く。
- 4 句読点やかぎかっこは、1字分とる。
(人の言葉は、かぎかっこでくくる。)
- 5 できるだけ1200字 (3枚目の最後の行まで) 書いてみる。



○ 書くときの注意

○ ひらがな・カタカナ・記号など

- ① カタカナを使う場合
外来語、擬音語(擬声語)、動植物名を原則とする。(擬態語はひらがなで書く。)
- ② むやみにカタカナを使わない。
例 ×ゴミ、ビックリ、ソックリ、オーイなど
- ③ むやみに英語の表記や記号(!・?・ー・あなど)を使わない。
例 ×おーい ○おうい ×ああ ○ああ